

## 平成29年 第9回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成29年7月28日（金曜日） 午後4時開会／午後5時10分閉会  
招集場所 市民会館2階 第1会議室  
教育長 山下修平  
出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子  
会議列席者 梶谷事務局長、向出次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、崎田生涯学習課長、中田スポーツ課長、  
畷崎文化財保護課長、北口文化財保護課参事、前野中央図書館長、谷口山中図書館長、  
奥村マラソン開催推進室長、絹谷生涯学習課長補佐、渡部教育庶務課長補佐

山下教育長 平成29年第9回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

学校の方は今もう夏休みに入りました。長い1学期が終わったわけですが、この間小学校、中学校での特別に大きな事故、トラブル、そして事件等はございませんでした。これも先生方の日頃の努力が実ったものかなというふうに思っております。それから小学校におきましては、この夏休みはプログラミング教育の方で結構忙しくなります。2日前からラズベリーパイを使った教室を始めました。三谷小学校からスタートして、三谷小、三木小、緑丘小、そして今日は錦城東小でやってまいりました。私も昨日三木小学校の方へ行って見てきたんですけど、すごく小さいんですが、付属の物をつなぐと本当にコンピュータの機能で、いろんなゲームみたいなものができるので、子ども達は非常に興味を持って楽しくやっておりました。それを家で使うためには付属品を若干買わないといけないんですが、それに対していろんな質問が出るなど、積極的に取り組んでいるなということがわかりました。

それから17日はGoogleの元副社長の村上氏に講演会をしていただきまして、この時にもプログラミングの重要性、そしてこれからは英語を身に付けないといけないという話をさせていただきました。それから先日、これは中学生、高校生ですが、AIワークショップというのをゆのくに天祥でやりました。これは大阪大学の学生達が来て講師を務めてくれるんですが、AIでこれからどのようなことができるかということで5グループにわかれて、最後はプレゼンテーションまでして、こういうことをAIを使ってやれるという発表までもっていくということでした。そんなふうにして小学校、中学校、高校とも今年の夏はプログラミングで忙しくなりますけれども、あの子ども達の目を見てみると、本当にこれはいろんな点で活かせるなということを感じております。

それから中学校では県体が終わりました、今年は非常に好成績をおさめました。まず錦城中学校の男子のバスケットが3位、女子のバスケットが2位、そしてソフトテニスの男子の団体がベスト8。それから山代中学校では女子のハンドボールが2位、東和中学校では男子のテニスの個人が3位、橋立中学校の男子のバレーボールがベスト8。この結果北信越に錦城中学校の男女のバスケットと、山代中学校のハンドボールが出ます。加賀市は今までどちらかというと、個人競技、水泳や陸上で北信越または全中へ行くこ

とがあつたんですが、今年はこのように団体競技が非常に頑張ってくれまして、北信越へたくさん行けるようになりました。それから全中の方にも片山津中学校、山代中学校で今、陸上で2名の参加が決まっておりますし、片山津中学校の子は全国優勝の可能性も秘めているという大変優秀な子であります。それから小学校の方でも、勅使小学校の子が、別にクラブチームに入っていたわけじゃないんですが、学校の中で練習していて、そして県で見事1位になりまして、これも全国大会に出場ということで本当に好成績をおさめました。今年から加賀市は部活動を日曜日休みにして、一部の保護者から競技力が低下するんじゃないかというような声もあつたんですが、反対に非常に良い結果が出て、我々としても一安心をしているんですが。私の経験上から言っても、日曜日を休みにして競技力が落ちるといことは絶対にないと確信をしておりましたが、このようなかたちで良い結果が出たので、非常に喜んでおります。このような健全なかたちで週に1回休みをとりながら、効果的な練習をして良い結果につながるというのが理想的なかたちかなというふうに思っております。これからも頑張ってくれるだろうと思います。長い夏休みですが、我々としては、水難事故や交通事故等がないことを願っております。本当に1学期、子ども達も先生方も事故が一切なくよかったなという思いであります。それではさっそく報告事項からはいっていきたいと思います。報告第35号、中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業「かがく宇かん」プロジェクトについて山本課長お願いいたします。

- 報告第35号 中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業「かがく宇かん」プロジェクトについて

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長

今の説明をお聞きしても難しい単語がいっぱい出てきて、実際何をするのかかなと思われるかもしれませんが、一言で言うと、このプレゼンテーションの12番のところを見てください。要は岡崎乾二郎氏と中谷英二子氏を中心として、雪の科学館をベースとして、科学と芸術そしてそれにプラス教育、こういうものをテーマに新しい学問を立ち上げて、加賀の地から世界に発信していく挑戦的な取組みであると。だからこれから壮大な発想でいろんな新しいことに挑戦していくというような、一言で言えばそのようなことだと思っただけならいいかなと思います。新しい学問ですので、まだわからない部分も出てくるんですが、そういうところに加賀市から挑戦をしていこうということであります。2つの新聞にも第2の中谷博士ということが見出しにも載っておりますし、こういうことを新しい研究としてやっていくということであります。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員

お願いします。大変崇高なテーマで、未来に向けて加賀市を発展させるために大変良いプロジェクトであると感じております。ただしこういうプロジェクトをやる場合には一般財団法人の中谷宇吉郎記念財団と加賀市が行うということなので、当然予算的な絡みが必要になってくると思われます。今年度からスタートということらしいですが、現在のところまで、加賀市はこのプロジェクトに関してどれくらいの予算の規模で行ってい

くのかということについておわかりになりましたら教えていただけないかなと思います。お願いします。

山本課長

はい、予算的な部分で申し上げますと、29年度は360万の予算化をすでにしております。その内容としましては、立ち上げました専用のウェブサイトの運営費でありますとか、関係者の打ち合わせの旅費的なものであるとか、あと関係しそうな大学研究機関への準備費的なもの、そういったもので360万を計上してあります。どちらかと言いますと、本格始動に向けての準備費的なものにしてあります。そして来年度以降になりますが、研究者の支援ということなんですけれども、研究者の研究費を市が負担することは想定しておりません。文部科学省の科学技術研究費補助金というのがありますので、文部科学省の補助金をとってくる受け皿になることで支援をするということ想定しております。あとイベント的なものを企画していく際には、その時にはまたそれなりのまとまった予算化が必要かなというふうに思います。

篠原委員

関連してもう少しお聞きしたいんですが、今年度は360万であると。次年度以降は文科省のそういう支援の窓口となって研究者を間接的に支援していきたいということなんです。例えばシンポジウムを開催するとか、31年には研究事業本格化ということで教育プログラムの実践、国際会議等々も書いてありますけれども、そのことに対しての予算規模というのは、将来的な見通しの中で例えばこれが1,000万になるのか2,000万になるのかというようなことは現在のところおわかりでしょうか。

山本課長

はい、具体的な予算額として今のところ正直見通せてないところはあります。単位としましては千万単位となるのが予想されると思います。イベント費用につきましても、今言いました文部科学省の補助費、これも研究成果を発信するための費用ということで使えるといったこともありますので、できるだけ有利なやり方を考えながら予算化はしていきたいと思っております。

篠原委員

ありがとうございます。大変崇高なプログラムなので素晴らしいと思いますけど、やはり加賀市の財政基盤が厳しいということはよくお聞きしておりますので、大切な税金でございまして、それを有効に活用していただきたいとお願した次第であります。

山下教育長

他、ございませんか。よろしいですか。今年は準備室の立ち上げということでご理解をください。それでは次報告第36号、小中学校教員の時間外勤務の状況について向出次長お願いいたします。

- 報告第36号 小中学校教員の時間外勤務の状況について  
向出次長 資料に基づき説明

山下教育長

時間外勤務については今、文科省の方も働き方改革ということで、最近新聞によく先生の超過勤務ということで取り上げられておりますが、石川県も昨年白山市で、過労が原因かどうかははっきりわかりませんが、現職の教員が亡くなったということもありまして、今年から県教委が高校の調査をすることになりました。それを受けて同じようなかたちで19市町が揃って勤務時間を調べることになりました。こうやって見ますと今説明がありましたように、ひとつの比較として金沢市が新聞に出ていたのを見ますと、加賀市は

まだそんなに多くはないかなと。中学校なんか部活動があるので当然多いんですけど、それも今年から日曜日を休みにしたということで、他のところと比べると若干少ないかなということを感じております。ただそれでもやはり多いということで校長会を通して、長時間勤務の多い先生には面接をするなどして指導をお願いしたいということで話をしています。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員

はい、このことは今年度から話題となっていたことなので、私も学校訪問の時に超過勤務の状況について証拠を見せていただきました。中には100時間超えというものたまに見受けられました。調査をしたことは非常に良いことだと思います。実態が明らかになったことは非常に素晴らしいので、たぶん以前からもこういう実態であったんじゃないかなということが予想されます。このようにマスコミを通じて、あるいはいろんなところで教員の勤務時間が非常に多いと、過重な労働をしているんだということについての世間の理解というか、そういうことに関する認識が深まったということは非常にいいことだと思うんです。現実問題としてはある大手の広告代理店の問題から発生したことがきっかけとなってきているんだろうと思いますけど。過労死の問題についても教員がこの調査をしたことによって、やはり多いということが明確にわかりますので、なんらかのかたちで時間外勤務を減らすような手立てといたしますか、具体的に言えば、人の数を増やすとか、あるいは授業以外でのいろんな事務や報告、教育委員会や文科省などへの報告がたくさん出てきますが、そういうことを極力減らしていただくようなことを、教育委員会の尽力としても、県教委あるいは文科省に対して訴えていっていただきたい。このことによって教員が本来の職務である子ども達の授業に専念できるような体制を是非作っていただきたいというのがお願いでございます。時間を的確に有効に、そしてうまく集中的に使っていくような指導を是非してほしい。最近特に若い教員の方が増えてきています。それでどうしてもいろんなところでの教材研究、子ども達の指導、事務的な作業等々について時間が多くかかるのはやむを得ないと思いますが、やはりそのことについては効率的に集中的にやるということについて、何回も申し訳ありませんが、各先生方にはご指導の方をよろしくをお願いをしたいと思います。以上です。

山下教育長  
向出次長

学校指導課なにかありますか。

貴重な意見をありがとうございます。そのような方向で考えていきたいと思っております。

篠原委員

ありがとうございます。

山下教育長

他、ございませんか。

山下委員

お願いします。同じようなことでございますけれども、以前からお話している部活動の助成とか課外指導者についての実態が少し知りたいのと、先般ある違う議会の方とお話をしておりましたら、課外遠征等についての助成とかをかなり多く出しているという話がありました。その辺の実態について、あくまでも自由参加という部活動は学校教育と離れたところにありますけれども、実態としてはやはり教員がその顧問になっていたりで活動があるわけですので、その辺についてのいわゆる校外指導者がどういうふうに入っているのかということと、それから各遠征についての実態、特に遠征費についてどれくらいの負担があつて、時間的なものと金銭的なものがわかれば教えて

ください。遠征についても例えば部活の顧問の先生なんかが段取りをして一生懸命して  
いなければいけないところもあるようでございます。ある私の知っている先生は、いつ  
も帰りが10時半とか11時じゃないと帰って来ないという話を聞いております。その先生  
は大変頑張っている先生でございますが、そういった先生の実際の活動内容、  
その辺を少し調査できればなと思いますので、今後検討していただけたらと思います。

山下教育長  
向出次長

今の件についてなにかありますか。

部活動のことについては今、外部指導者等も含めて文科省の方もいろいろ動いておりま  
す。ただ予算が確保されていないという現状もございますので、そのあたりも含めて、  
今山下委員がおっしゃったことを踏まえていろいろと状況を見ていきたいというふうに  
考えております。

山下教育長

この件については、結構文科省が本腰を入れていろんなことを考えるようになってしま  
した。今言っている部活動の外部指導者の件もそうですけど、いいことだなと思うん  
ですが、予算的な裏付けがまだ一切ないもので、すぐに浸透するかといったらちょっと時  
間がかかるかなというふうに思います。いずれなんらかの予算付けもなって徐々に浸透  
していくんじゃないかなと思います。他、ございませんか。一応これが加賀市の今の実  
態であるということでご承知ください。続いて報告第37号、外国語指導助手（A L T）  
の新規採用について向出次長お願いいたします。

- 報告第37号 外国語指導助手（A L T）の新規採用について  
向出次長 資料に基づき説明

山下教育長

先ほど村上先生の講演の中でもこれからは英語だという話がありましたが、加賀市も英  
語教育に力を入れていきたいなということで、今現在2名のA L Tがいるんですけど、  
さらに1名を増やして配置をしていこうと。ネイティブな英語を聞く機会を少しでも多  
くということを考えております。2学期から1人増員になるということでもあります。  
これについて何かご意見、ご質問ございませんか。ありませんか。それでは続いて報告  
第38号、市民文化講演会の開催について絹谷課長補佐お願いいたします。

- 報告第38号 市民文化講演会の開催について  
絹谷課長補佐 資料に基づき説明

山下教育長

この市民文化講演会に関しまして、ここ何年かこのようなかたちで2回にわたっており  
ます。1回目はみなさんご存知の元ピッチャーの山田久志氏などをお迎えして講演会  
をし、2回目は加賀市出身の本川弘一先生のご息子の東京工業大学名誉教授の本川達雄  
先生、昨年も小学校7、8校で出前授業をしていただきました。大変好評でありまして、  
今年もこの講演会をおこなったのち月曜、火曜でまた小学校で出前授業をしていただく  
ことになっておりますし、今年から本川弘一科学奨励賞というものを作りました。ご子  
息の本川達雄先生から多額のご寄付をいただいて基金を創設しまして、9月にいつも科  
学作品展をやっておりますけれど、その中から優秀作品にこの賞を授与したいと。今年

は第1回目ですので授与式も兼ねて、感謝状贈呈式も行いたいという予定であります。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員  
崎田課長

本川先生の講演のあと、出前授業はどの学校で行われるかわかりますでしょうか。出前授業ですけれども、翌日の9月25日月曜日と、26日火曜日を予定しております。25日の月曜日の午前中は庄小学校、作見小学校、午後は南郷小学校の予定となっております。26日火曜日は午前中が片山津小学校に金明小学校の生徒さんも加わって受けます。午前の2回目が山代小学校に勅使小学校の生徒さんが加わって受けます。それから午後は分校小学校で緑丘小学校の生徒さんが加わって受けます。

篠原委員  
山下教育長

ありがとうございます。本川達雄先生の書いた本がいろいろあるわけですけれども、小学校5年生の国語の教科書に「生き物は円柱形」というのが載っています。それを題材にして授業をやってくれます。途中で歌も歌いながら非常に面白いかたちで授業をしていただけるので、去年も大変好評でした。今年も是非ということでたくさん希望があって、まわりきれないので1校に他の学校からも来るかたちで出前授業をおこなっていただきます。他、ございませんか。では報告第39号、加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2017の参加申込状況について奥村室長お願いいたします。

- 報告第39号 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2017の参加申込状況について  
奥村室長 資料に基づき説明

山下教育長  
山下委員

寛平ナイトマラソンについて何かご意見、ご質問ございませんか。はい、数字を見て思ったより伸びていないなと実感しているんですが、例えば案内方法は昨年参加の方にDMするとかは特にしていないんですか。

奥村室長

去年は第1回目ということで募集期間も短くて、ほとんど何もコマーシャルできない状況にあったんですが、800弱の申し込みがありましたので、今年は簡単に上回ると考えていたんですが。初日だけ見ますと110人のエントリーがあったんです。このままいくと一気に定員オーバーするかなと思っていたんですが、なかなかそういうわけにもいなくて。今年は5、6月に県外の方でもいろんなマラソン大会がありまして、そちらの方で実行委員会のメンバー共々、パンフレットを持ってPRに行ったり、あと申し込みはすべてインターネットで受け付けていまして、昨年受け付けた方々のメールアドレスを把握しておりますので、そちらの方に先週くらいに、再度申し込みがまだの方はお願いしようということで念押しメールは送らせていただきました。そこから段々数字は伸びてはいるんですが、あと3日ちょっとでどれだけくるかというところでもあります。

山下教育長

これを見ると北陸3県以外は順調で宿泊もしていただけるかなと思うんですが、石川県の伸びがちょっと少ないかなと。

篠原委員

はい、昨年度の寛平マラソンのあとの会のお話させていただきましたが、やはり安全面が前から気になっているところですね。それから大変蒸し暑い時期ですね。去年は私の向かいの方がナイトマラソンに出られたので、その向かいの方の実際の体験について、例えばコースで黒谷橋の上がってくところが非常に暗くてこわかったとか。もちろん

ヘッドライトはしているんですが、それでも暗かったとかいろんなことをその方を中心として、何人かの方からお話があったわけです。それでそういうことも併せて昨年度のいろんなご意見等も出てきていると思いますので、今年度の運営の時にそういうことも併せて、一番大事なのは安全面だと思いますので、そのところのご配慮を是非お願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

奥村室長

確かにこの大会の時期が9月の2日の夜ということもあり、大変暑い時期ということで、去年も給水のエイドで計算上は十分用意したはずなんですが、足りないところが出てきて、かなり飲み水よりも体を冷やしたいというので体にかけるランナーの方がたくさんいらっしゃったので。今年は特に水道を利用できるエイドについてはホースを引いて掛け水のたらいとか、水道がないところはポリタンク等で対応したいというふうに思っております。

篠原委員

ありがとうございます。是非よろしく願いいたします。

山下教育長

他、ございませんか。あと3日ほどありますので、是非昨年を超えてほしいなと思っております。それでは報告第40号、第14回小学生イラスト原画九谷焼絵皿展の審査結果について柏田副館長お願いいたします。

- 報告第40号 第14回小学生イラスト原画九谷焼絵皿展の審査結果について  
柏田副館長 資料に基づき説明

山下教育長  
疎委員

イラスト原画九谷焼絵皿展の審査結果について何かご意見、ご質問ございませんか。いいですか。最後の国内応募点数で1名あたり5点まで応募可能というのは1人で5枚まで出せるということですか。

柏田副室長

はい、そういうことでございます。

山下教育長

他、ございませんか。この作品は絵皿になったものは絵で見るよりもさらに素晴らしいものですので、是非みなさん一度はご覧になっていただきたいなと思います。

梶谷局長

すみません、この市内と書いてあるものの県内はわかりますか。これを見ると小松市とか白山市とか金沢市とかあるので。富山、高岡もありますね。

柏田副館長

全国から応募はございますので、ウェブでも募集しております。すみません、ちょっと手元に資料を持ってきていないもので。

梶谷局長

あと去年の国内の応募の総点数はわかりますか。

柏田副館長

昨年は国内の総点数は2,144点です。それから台南市の方が660点の合計2,804点です。

梶谷局長

増えていますね。点数も増えているし、市内も増えていますね。

山下教育長

他、ございませんか。なければ続いて報告第41号、北前船の日本遺産認定について山本課長お願いいたします。

- 報告第41号 北前船の日本遺産認定について  
山本課長 資料に基づき説明

山下教育長

北前船の日本遺産認定について何かご意見、ご質問ございませんか。

篠原委員

お願いします。加賀市は本当に全世界に誇れるものがいっぱいあるわけですね。その中で北前船が日本遺産になったということは非常に良いことです。小松市が石の文化ということで、ストーリーを作って日本遺産になっていますが、加賀市も遺跡だとか温泉文化だとか日本遺産になりうるものがいっぱいあるわけですよ。たくさんの素材がごろごろ眠っていますので、掘り起こして是非ストーリー化させていただきながら、このような認定につながるような取り組みをお願いしたいなど。これはお願いでございます。以上でございます。

山下教育長

他、ございませんか。

梶谷局長

補足をちょっとさせていただきます。ここに入っております日本遺産は文化振興ということで、教育費で対応になります。部局は観光戦略部にあります。補助執行ということで、市長部局の方で対応していくということで。石川県の日本遺産は能登のキリコと小松の石文化です。いかにして地域にあるものをストーリーとして観光的につなげていくか、やはりそのつなぎかたのうまさ問われているということです。文化庁としては、日本全国で目標は100カ所、都道府県の数からいって1県あたり2つ3つくらい。連携ので3つあるので、2つあればいいところを割ときているのかなというところがありますね。今、北前の方は小松と輪島が連携の中でフォーラムとかをやっている中に参加させてほしいということで追加認定を目指しております。山中は山中節ということで、そこまで広げて認定されているということで、そこまでいかにしてつなげていくかという。あと単独のところと連携のところとやっているところもあります。補足で言いますと、山中の方はちょっと止まっています。山中温泉で申請したんですが、認定はされなかったんです。でもこういうふうに山中節も入っていますので、山中節の中には当然船主の湯治ということもありますので、関連なのでそれと一緒にそういう認識を上げてもらえればということです。今のところ山中の動きはちょっと止まっていますが、これを契機に違う方の動きはあります。ひとつの考え方として日本遺産にもなりうるのではないかと、町民の意識を上げたいと。最終的になにがなんでもこれをとらなければとかならないというかたちでした。

山下教育長

他、ございませんか。それではこれで報告事項は終わりとしてその他にはいろいろあります。その他の高校生議会について山本課長お願いいたします。

- 高校生議会について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長

高校生議会について何かご意見、ご質問ございませんか。8月9日に行われるということでご承知ください。続いて石川縣市町教育委員会セミナーへの参加について山本課長お願いいたします。

- 石川縣市町教育委員会セミナーへの参加について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 教育委員会セミナーへの参加について何かご意見、ご質問ございませんか。みなさん予定に入れておいてください。それでは次その他のその他ということで山本課長お願いいたします。

- 平成29年度市町村教育委員研究協議会の開催について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 それでは希望があればよろしくお願いいたします。次回の定例会について山本課長お願いいたします。

- 会議日程について

山本課長 資料に基づき説明

山下教育長 次回は8月23日の9時からということでよろしくお願いいたします。これで本日の予定は終わったわけですが、他に何かありますか。

それでは以上をもちまして、第9回教育委員会定例会を閉会いたします。

ご苦勞様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。